

Basic Information 保育園について

【基本情報】

名称：アスクバイリンガル保育園 北新宿

住所：〒169-0074

東京都新宿区北新宿 2-4-11

電話番号：03-5338-2511

【入所定員】

| 年齢 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 |
|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 定員 | 6名 | 14名 | 15名 | 15名 | 15名 | 15名 |

【開所時間（延長保育時間含む）】

月曜～土曜 7:30～20:30

保育標準時間認定（11時間）

基本保育時間 7時30分～18時30分

延長保育時間 18時31分～20時30分

保育短時間認定（8時間）

基本保育時間 9時00分～17時00分

延長保育時間 7時30分～8時59分

17時01分～20時30分

閉園日：日曜・祝日・年末年始

【その他】

駐輪場：送迎時のみ駐輪可 駐車場：無

園庭：有（屋上） ベビーカー置き場：有

Bilingual Program バイリンガルプログラムとは

英語を学ぶことが最終目的ではなく、イマージョン教育の考え方をベースとして母国語としての日本語を大切にしつつ、英語環境の中で保育活動を行うことで日常生活の中から知識の習得を目指します。

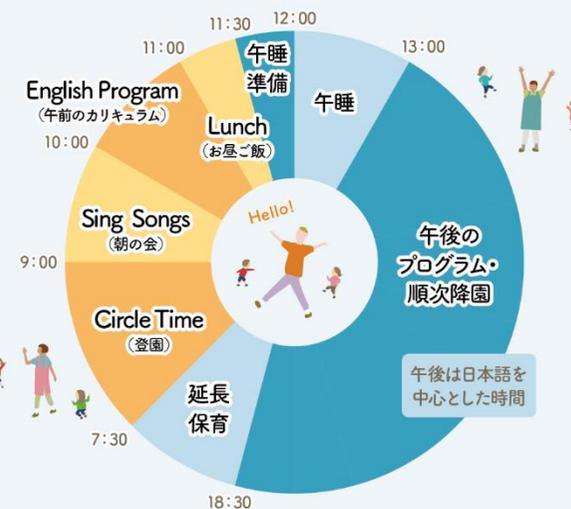


ネイティブの英語講師が常駐
こどもたちが「英語に浸る」時間を設けます

| | | 年間の単語数 | 累積の英語プログラム時間 |
|----|--|--------|--------------|
| 0歳 | 外国人講師とともに楽しく過ごすことで英語での環境に慣れる。 | — | 80 |
| 1歳 | 園生活の一部を英語で行うことにより、無理なく英語の言語中枢を形成。 | 25 | 160 |
| 2歳 | 様々なプログラムを通して英語での経験を育みながら、「協調性」や「表現力」を培う。 | 125 | 240 |
| 3歳 | 英語を定着させ、さらに表現力や文章力を養う。 | 375 | 360 |
| 4歳 | 指示を聞き、何をすべきか考え、理解できるよう導く。 | 480 | 480 |
| 5歳 | 様々なプログラムを通し、好奇心を引き出し、国際感覚を養う。 | 587 | 600 |

Daily Flow 一日の過ごし方

英語講師が午前中に常駐する場合



～年間行事～



親子遠足



七夕まつり



きたしんオリンピック



こども劇場

Q & A

Q. おむつの持ち帰りは必要ですか？

A. おむつのお持ち帰りは不要です。また当社は、紙おむつ定額利用サービス（おむつサブスク）を導入しています。このサービスを利用すると、おむつに名前を書いて、園へ持っていく必要がありません。（※利用は任意です。）

ただし、おもらしをしてしまった衣服や嘔吐物・出血時の血が付着した衣服などは感染予防の観点から、園で洗わずにお持ち帰りいただいております。

Q. バイリンガルの先生と関わっている子どもたちの様子はどうでしょうか？

A. バイリンガルプログラムが始まった当初は戸惑う姿がありましたが、今では外国人講師が来ると「〇〇先生！good morning！」と挨拶をしています。また、一緒におままごとやブロック遊び、ダンス、英語のプリントワークなどいろいろな活動を通して常に英語が耳に入ってくる環境です。乳児さんは簡単な単語を話してみたり、幼児さんは英語でやり取りをしようとしてみたりして日々楽しんでいきますよ。

Tuition 集金させていただくもの

| | |
|---------------------|--------|
| 夕食代【1時間延長希望】 | 200円/食 |
| ICカード【紛失時】 | 1,100円 |
| メッシュカバー（小） 【破損時】 | 3,480円 |
| メッシュカバー（大） 【破損時】 | 3,980円 |
| 卒園アルバム | 実費 |
| 課外活動 | 実費 |

Requirements ご用意いただくもの

- ・おむつ おしりふき 適量
- ・スタイ（よだれかけ） 3～4枚（必要であれば）
- ・着替え（下着含む） 3組ずつ
- ・帽子 1個
- ・防水シート・タオル
- ・汚物入れ 1日分1～2枚
- ・避難靴 1足（0～2歳児）
- ・上履き 1足（3～5歳児）

毎月ブログも更新中！
園HPはこちら



株式会社日本保育サービス
<https://www.nihonhoiku.co.jp/>



ASC Bilingual Nursery School Kita-shinjuku

アスクバイリンガル保育園 北新宿



バイリンガル保育園では「イメージ教育」の考えをベースに、母国語としての日本語を大切にしつつ、英語環境の中で保育活動を行うことで日常生活の中から知識の習得を目指します。また温かい家庭的な雰囲気を大切に子どもたち一人ひとりの”やってみよう！”という気持ちを大切に子どもたちの探求心を育て、積極性、能動的な姿勢を身につけてほしいと思って保育を行っています。